

勝央町教育大綱

楽しく学び  
他人(ひと)を思う  
心豊かな人づくり



学校教育目標

自ら学び 心豊かでたくましく生きる児童の育成

勝央町一貫教育

『自立に向かって学び続ける勝央っ子』  
～自分を愛し 友だちを愛し 勝央を愛する子～  
・生活する力 ・学ぶ力  
・友だちと関わる力 ・地域と関わる力

めざす学校像

- ◆一人一人の子ども・教職員が安心して生き生きと活動し、笑顔がたくさんある学校
- ◆夢や目標に向かって、主体的に、粘り強く、互いに高め学び合い、チャレンジする学校
- ◆地域や社会と繋がりを、関わる中で、期待され、信頼される学校

やさしく

- ◆相手の気持ちを考える温かい心情・判断力のある子ども
- ◆主体的に学び、学んだことを人のために生かそうとする子ども
- ◆自分の良さを知り、励まし合い、高め合う子ども
- ◆相手を意識して、あいさつができる子ども

かしこく

- ◆夢や目標に向かって、基礎的な知識や技能を伸ばそうとする子ども
- ◆課題発見、解決に必要な思考力、判断力、表現力を高めようとする子ども
- ◆行動や感情をコントロールして、自分自身の現状に照らし合わせ、力を発揮できる子ども
- ◆相手を意識して、話をよく聞き、自分の考えを伝える事のできる子ども
- ◆友だちと協力し、主体的に学習に取り組もうとする子ども

たくましく

- ◆健康で、調和のとれた運動能力とそれらを支える体力を高めようとする子ども
- ◆夢や目標に向かってチャレンジし、粘り強くがんばり、やり抜こうとする子ども
- ◆より良い地域や社会の実現をめざし、積極的に関わろうとする子ども

めざす教職員像

- ◆児童への愛情(児童理解・人権教育の推進)
  - ・目の前の子どもへ愛情をもち、一人一人のよさや可能性を引き出せる教職員
  - ・人権教育を推進する教職員
- ◆教育への情熱(授業改善の充実)
  - ・児童の学習意欲を引きだし、探究的な学習や学び合いとICTを活用した授業を自ら求める教職員
  - ・一人一人の児童の力を伸ばし、児童と一緒に成長を喜ぶ教職員
- ◆チーム力(連携の強化)
  - ・地域や家庭と連携しチームを意識した高め合う集団をめざす教職員
  - ・業務全体を見直し子どもや家庭とのつながりを大切にし、どの子ども伸びる学校改善を推進する教職員

指導の重点

(1) 一人一人が力を伸ばす主体的な学び

- ①意識を高くして、主体的に学ぶ授業づくり
  - ・読解力を育成し、ユニバーサルデザイン教育、特別支援教育の視点(焦点化・視覚化・共有化)を生かしたスモールステップによる評価と振り返りで、見通しを持てる、わかった、できたの授業
  - ・ふんだんにICTを活用する授業
  - ・探究的な学習を取り入れ、自分の考えを持ち、友達と伝え合うよさを、振り返りにより感じられる授業
- ②児童と教師の協働による落ち着いた学習環境・児童の自己有用感、効力感をベースとした、学習規律の定着(チャイムスタート、聞き方・話し方・学習用具)による落ち着いた学ぶ事のできる雰囲気作り
- ・コミュニケーションスキルの指導、自治的活動の充実による安心して学べる集団づくり
- ・協同的指導体制、教科担任制(チーム担任制)による学習環境の整備
- ③基礎基本の定着
  - ・ICTの活用を含めた朝学習、家庭学習の充実(きんとくんノート&きんとくんプリントの積極的な活用)
  - ・個々の児童の学習状況の分析結果と個々の児童のつまずきを探る学習カウンセリングの分析で、つまずきの早期発見と適切な指導、支援と補充時間の確保
- ④特別支援教育の充実
  - ・個に応じた指導及び支援、学びに向かう環境整備の工夫
  - ・「見通し」「達成感」が持てる学習活動の工夫
  - ・定期的な情報交換による情報共有と指導の一貫性の確立
- ⑤読書の習慣化
  - ・読書する場の設定(朝読書、読み聞かせ)
  - ・おすすめの本、学級文庫
  - ・委員会による読書推進

(2) 人権を意識し助け合い、認め合い、高め合う集団づくり

- ①積極的な生徒指導の推進
  - ～生徒指導の三機能を生かして～
  - 自己決定の場を与える
  - 自己存在感を与える
  - 共感的な人間関係を育成する
- ・生徒指導の三機能を意識した学習活動、探究的な学習の推進
- ・縦割り班活動や異学年交流の工夫
- ・一人一人が大切にされ、自分の思いを出せる居心地の良い学級づくり(QUの活用)
- ・KINTOくんミニアンケート、教育相談タイムをはじめ、児童の気持ちを聞く機会の確保
- ・コミュニケーションスキルとして、正しい言葉遣いやあいさつの意識づけ
- ②人権教育の推進
  - ・人権意識の醸成(いじめ、障害者理解等、人権教育を着実に実施)
  - ・人権課題への取り組み(いじめ、福祉等、教科等の学習の中でも、人権課題を焦点化)
- ③道徳の授業の研究推進
  - ・内容項目に迫り、自分事として考え、道徳的判断力、心情、実践意欲を高める授業づくり
  - ・道徳教育の推進(各教科等での意識化)
- ④協同的指導体制、教科担任制(チーム担任制)の研究推進

(3) 体力、自己肯定感・自己有用感の向上

- ①保健体育学習の充実
  - ・角力、サーキット、チャレンジランキングの取組
  - ・「体力アップ・マイベストチャレンジシート」の活用
  - ・委員会活動による体育集会、保健集会等
  - ・基本的な生活習慣の定着支援、メディアコントロールの推進
- ②外遊びの活性化
  - ・外遊びの推奨、外遊びがしたくなる環境づくり(北小ギネス、一輪車など)
- ③児童が活躍できる場、挑戦する場の設定
  - ・自分から関係する他者へ働きかける場の設定
  - ・学級活動、縦割り班・委員会活動など、子どもが考え、計画する活動の充実
  - ・行事、探究的で体験を伴う学習の充実(スポフェス、米作り、黒豆作り、福祉体験等)
  - ・一人一人が認められる機会の充実
  - ・めあてに向けてがんばったことを実感できる、めあてや振り返りの工夫
- ④教科担任制(チーム担任制)による指導と評価の一貫性
  - ・得意を生かした支援(企画、ICT、情報発信、地域との連携等)

(4) 地域・家庭と共にある開かれた学校作り

- ①地域の方々との交流・連携
  - ・学校運営協議会と学校支援協働本部を両輪としての推進
  - ・北小まつり、クラブ活動、地域ボランティア、外部講師
  - ・積極的な情報発信と公開
  - ・業務を見直し、児童を伸ばす学校改善の推進に向けた連携
- ②地域に学び、地域と関わり、地域へ働きかける、地域へ愛着を持つ体験的な地域学習
  - ・生活科や総合的な学習の時間を中心に探究的、体験的な学び
  - ・地域を支えている方々からの学び、学んだ事を生かした地域への働きかけ
- ③自立に向けた家庭との連携
  - ・望ましい生活習慣の定着
  - ・「ばっちりモグモグ」、PTAを中心とした家庭読書、お手伝い親子のふれ合いの推進
  - ・「“お”弁当の日」などによる親子のふれ合いの推進
  - ・親プロの推奨

\*全ての教職員で 全ての子どもたちの教育を  
\*子どもと一緒に学校づくり=教育

\*子どもの話をよく聴く  
\*よいところやがんばったことをほめる  
\*振り返り場面でしっかり価値付け

\*「～したい」の満ちた教室を  
\*個に応じて力を付ける  
\*苦手意識を持った子が安心できる授業  
\*失敗、あやまちから学ぶ

